

2009年6月にスタートした京都サンダーカワラバン

みなさまからの励ましのお声を頂いたおかげで、第100号を発行することができました。記念すべき第1号のトップニュースは総合評価型による入札が始まったちょうどこの頃でした。あれから10年が経過した今、建設キャリアアップシステムと働き方改革が本格始動しようとしています。新たな変革期を迎えた建設業界ですが、京都サンダーはこれからもお客様が抱える課題解決の選択肢を増やすお手伝いをして参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

働き方改革に向けて

度重なる災害への対応や維持・修繕等日常生活の中で、建設業の社会的意義はますます高まっています。しかし、期待が高まる分だけ工期が厳しくなり、人材不足が原因で休日出勤や長時間労働が常態化しているのも事実です。そこで、2024年に向けた働き方改革猶予期間に向けた選択肢として京都サンダーがご提案するのが、建設ディレクター育成講座です。

建設業における休日の状況 【国土交通省 資料参照】

全体	(4週当たり)休暇日数 4.90日
建築工事	(4週当たり)休暇日数 4.70日
土木工事	(4週当たり)休暇日数 4.93日

現場と事務所をつなぐ「建設ディレクター®」



建設ディレクター3つの役割

- 1 ITスキルで工事書類を作成し、現場を支援します。
- 2 コミュニケーションスキルで現場とオフィスをつなぎます。
- 3 継続的なカイゼンで社内の仕組みを整えます。

～建設ディレクター®とは～

ITスキルとコミュニケーションスキルで現場と事務所をつなぎ、現場技術者が抱える膨大な工事書類作成業務を支援する新しい職域です。IT化が進む中、昼間は現場、夕方からは事務所で書類作成や写真整理に追われる現場技術者から「書類業務を手伝ってくれる人がいたらどれだけ助かるか」というお声を聞いたことが建設ディレクター誕生のきっかけです。



建設ディレクター育成の期待効果

長時間労働の削減

働きやすい職場

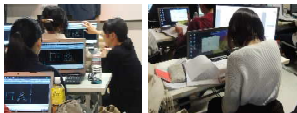
現場の生産性向上と
品質向上

女性社員の採用

スキル
モチベーションアップ

建設ディレクター育成講座開講【京都 4/16・東京 4/11】

2017年1月建設ディレクター育成講座が開講。以降、お客様や受講企業の方々の感想を参考にしながら、よりお役に立てるようプログラムの見直しをしてまいりました。講座の受講だけでなく、受講後のフォロー体制の整備も行い、4月より新たに生まれ変わった建設ディレクター育成講座を開講します。



【京都会場】京都市内
4月16日(火) 開講予定

【東京会場】東京23区
4月11日(木) 開講予定



一般社団法人 建設ディレクター協会へのお問い合わせはこちら (HP: <https://kensetsudirector.com/>)

TEL : 075-414-3000 FAX : 075-414-3344

フリガナ		フリガナ	
貴社名		氏名	
TEL		FAX	
MAIL		会場	<input type="checkbox"/> 京都 4/16 <input type="checkbox"/> 東京 4/11
住所			

「オンライン電子納品」の試行実施

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000538.html

国土交通省で、インターネットを介して電子納品データの納品を行う「オンライン電子納品」の2020年度運用に向けて、技術的な検証や課題の抽出等を目的とした試行的なオンライン電子納品が実施されます。

今後オンライン電子納品の運用により、現在の電子媒体を用いた電子納品による受発注者の作業を省略化、効率化が期待されます。

【期間】平成31年2月1日(金)～平成31年2月28日(木)

【対象】計26件(工事24件、業務2件)

「オンライン電子納品」とは、情報共有システム上の電子成果品(打合せ簿・報告書・図面等)を、インターネットを介して納品することです。

【目的<運用開始に向けた技術的検証>】

- ・現行の電子成果品に係る受発注者の納品作業(作業フロー)が実現できることの確認
- ・インターネットを介して、確実に電子成果品が納品できることの確認
- ・情報共有システムと仮登録サーバー間の通信手順や負荷の確認

【効果<省力化、効率化>】

- ◆電子成果品の作成、格納に係る作業
(◎:発注者 ○:受注者)
- 電子媒体(CD-R等)への格納、ラベル等の作成、郵送等の作業の削減(時間、費用)
- ◎電子成果品チェック、差戻し作業の負担軽減
- ◎電子成果品の確実な格納
(電子納品・保管管理システムへの自動登録)

建設業の「働き方改革」を迫るアプリ

新商品の
ご紹介!



現場の様々な部分で活躍!

クラウドサーバーに保存した大量の図面や写真をiPad/iPhone端末で携帯。スピーディに図面閲覧ができます。また、図面上に登録された写真やコメントを簡単に情報共有。

今までの業務がより効率的に、社内外のコミュニケーションを円滑に、また正確に情報を伝達することができる、建設業向けのオールインワンソリューションです。

図面携帯

情報共有

帳票出力

アプリを使って

社内

- ①図面を登録(PDF/JPEG/AUTO-CAD/Jw-CAD等)
- ②帳票(エクセル/PDF)出力
(入力済の各種帳票を出力とダウンロード)

建設・施工現場

- ②図面を取込む
- ③検査(写真撮影・メモ)
- ④検査記録を登録

③施工現場の各工程に合わせて、記録・検査を行います。

詳しくは京都サンダーまでお問い合わせください!



SPIDERPLUS
クラウドサーバー

31年度

総合評価方式における新たな取組み

近畿地方整備局総合評価委員会で承認された31年度からの新たな取組み内容がまとまりました。適用時期については原則31年度からとなるものの、局では30年度内の入札公告、4月以降の契約対象でも適用できるものについては実施していく方針です。

担い手確保・働き方改革の促進を図る取組み

■『週休2日促進型』

総合評価:
加点について表に示す
週休2日制実施工事の
履行内容により加算

4週8休以上:2点
4週7休以上8休未満:1.5点
4週6休以上7休未満:1点
4週6休未満:0点

■『ICT工事促進型』

総合評価:加点についてはICT活用工事の一部に適用
①実施有り:2点 ②実施無し:0点

■『担当技術者評価型』

対象工事:工事種別は一般土木工事C等級
工事の規模は、3億円未満の工事

総合評価:同種工事の経験について担当技術者として従事した実績も監理技術者等と同等の評価とする。
ただし、担当技術者として従事した工事に携わる段階で、監理技術者になるために必要な国家資格等を有している場合に限る。

■『技術提案のオーバースペック対応』

■『建築工事の段階的選抜方式』

■『営繕チャレンジ型』

■『営繕工事の評価対象拡大』

技能者データベース

4月の本運用に向け試行開始

建設技能者の就業履歴や保有資格などの情報を蓄積するデータベース「建設キャリアアップシステム」の限定運用が1月15日より開始されました。

限定運用は、システムを運用する現場を24現場に限定し、現場へのカードリーダーの設置と設定、建設キャリアアップカードの読み取り、就業履歴の蓄積状況の確認を行います。現場で生じるトラブルを検証し、本運用にフィードバックすることが目的。限定運用で発生するトラブルに対応するため、振興基金の担当者を各現場に配置するなど、サポート体制も整えられています。

①技能者情報等の登録

②カードの交付・現場での読取

③システムによる就業履歴の蓄積

技能者の処遇改善が
図られる環境を整備



技能者の保有資格や社会保険の加入状況をシステム上で確認が可能。就業履歴も蓄積されていきます。
(いつどの現場に従事したかの実績)